

(4) 防災機能向上WG

①第1回 防災機能向上WG

- ・ 日時：11月12日（月）13：00～14：00
- ・ 場所：明治安田生命川崎ビル2階 第二会議室
- ・ 参加委員8名

i) 議題

- ・ 防災機能向上WGにおける検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(防災機能検討における考え方について)

- ・ 整備予定のマンション計画についてレイアウトや動線等を確認しておく必要がある。
- ・ 市境であり、横浜市の住民が避難してくる可能性もある。
- ・ 現在想定すべきは発災直後のみで、1日程度の経過で各避難者は本来避難すべき場所へと戻っていく。
- ・ 新設される小学校の防災機能が最も高くなるのであれば、それに対応して周辺住民を受け入れることになるのではないか。
- ・ 原則的に学校は一時避難所であり規模的制約もある。小学校の受け入れ規模想定に周辺住民や帰宅困難者は含めない。
- ・ 避難者の想定があるのであればそれを超えた計画をここで行うことはできないだろう。
- ・ 避難者の想定は現在集計中で区単位で出る予定である。
- ・ 付加価値をつけるとすると避難所にはない応急救護機能を持たせる等の考え方がある。
- ・ 防災のみの視点で付加価値を考えると他との違いが際立ってしまうので省エネルギー等の視点も必要だろう。

②第2回 防災機能向上WG

- ・ 日時：12月6日（木）13：00～14：00
- ・ 場所：川崎市教育文化会館 第4会議室
- ・ 参加委員10名

i) 議題

- ・ 基本構想及び施設整備方針について
- ・ 防災機能向上WGにおける検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(新設マンションとの防災連携について)

- ・ 新設マンションの防災設備の計画について、市側から最低限の非常用電源の確保をお願いしている。
- ・ 小学校の設計が始まる前に具体的な機能が決定していないと設計条件に含められない。既存施設だけでなく新設の場合の要件として整理されていることが望ましい。

- ・ 新設校を新旧住民の交流を図る避難所訓練等に活用するというようなソフト面での検討も行っていきたい。

(省エネルギー対策と防砂機能の連携について)

- ・ 避難所だけでなく校舎の断熱等についても対応して欲しい。
- ・ 災害の規模によってどの教室を避難所として開放するかは異なってくる。普通教室は原則利用しない方針である。
- ・ 新設校はゼロエネルギー化の視点から高い断熱性能が確保され、避難所としてもグレードが高くなる。学区の住民があまり避難してこないという状況で新設校をどう位置付けるかは災害規模のケーススタディ等により整理する必要がある。
- ・ 原則的には平常時の機能が災害時にも活用できるという考え方である。ただし、新設校なので体育館に自立的運営が可能な機能を具備していくことは検討していく。

③第3回 防災機能向上WG

- ・ 日時：1月30日(水) 9:00~10:30
- ・ 場所：明治安田生命川崎ビル2階 第2会議室
- ・ 参加委員8名

i) 議題

- ・ 基本構想全体まとめ目次案
- ・ 防災機能向上WG資料の確認
- ・ 建物配置ブロック例の紹介

ii) 委員からの主な意見

(建物配置ブロック例について)

- ・ 避難者経路は複数確保する必要があるだろう。
- ・ 防災面から考えると絶対条件ではないが、体育館と屋外運動場は近接していることが望ましい。
- ・ 救援物資等を運搬するトラックは通常は2t車程度だが、拠点的に使うのであれば4t車程度が寄りつくとよい。

④第4回 防災機能向上WG

- ・ 日時：3月18日(月)
- ・ 場所：川崎市役所第3庁舎15階 第1会議室
- ・ 参加委員10名

i) 議題

- ・ 基本構想全体まとめ目次案
- ・ 防災機能向上WG資料の確認
- ・ 建物配置ブロック案の紹介

ii) 委員からの主な意見

(諸室の設えについて)

参考 4. 打合せ・視察記録

- ・ 諸室の設えにおいて、体育館に以外についても防災的視点からの記載はしておいた方がよいかもしれない。
- ・ 面積構成において、機械室に関する記述がないが、ゼロエネルギー化の中で何かしら必要となるように思われるので、どこかで表現はしておいた方がよい。

(エネルギー供給について)

- ・ プロパンガスによる複数熱源化について触れる。
- ・ 風力発電に関する記述はないが、蓄電池付にして夜間の屋外照明などに利用すること等も可能性がある。

(5) 地域活性化・地域資源活用WG

①第1回 地域活性化・地域資源活用WG

- ・ 日時：11月20日（火）10：00～12：00
- ・ 場所：川崎市教育文化会館 第5会議室
- ・ 参加委員9名

i) 議題

- ・ WGにおける検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(学校施設の開放について)

- ・ 施設の開放は運営の担い手があることであるのでその点に留意する必要がある。
- ・ 学区と開放の範囲は一致しないが、学校開放は学校と地域の関係で築かれるものであるため、学校側が運用状況を把握できた段階から地域と連携していくことが望ましい。
- ・ どのような開放施設が望ましいかはニーズの調査が必要である。老人クラブが集まれるホール、太鼓の練習など音を出してもよい場所に対するニーズはあるだろう。スポーツ施設に対するニーズも当然あるだろう。
- ・ 一般的には学区内のスポーツチームが利用していて他から入りづらく、周辺への開放までは想定しづらい。
- ・ 大会等が開催できる施設整備にして、交流の場とする考え方はある。
- ・ スポーツ活動には、騒音、光害等の苦情もあるので配慮する必要がある。
- ・ 地域の方に活用してもらうには、駐車場も必要になってくるので最低限の確保は検討していく必要がある。
- ・ 特別開放施設を整備するのであれば学区住民でなく広く平等に利用できるが、動線計画に配慮する必要がある。
- ・ 今回の開放施設は、単なる多目的室でなく科学技術教育の視点もあり、これらを実現するための施設整備の計画も明確にする必要がある。

(地域資源活用について)

- ・ 教員研修や講演会等の活用は想定できる。
- ・ 企業や大学に相談する上でも具体的なイメージが必要である。
- ・ 他都市では大学と連携した事業もあり確認していく。

②第2回 地域活性化・地域資源活用WG

- ・ 日時：12月6日（木）10：00～11：30
- ・ 場所：川崎市教育文化会館 第4会議室
- ・ 参加委員10名

i) 議題

- ・ 基本構想及び施設整備方針について
- ・ WGにおける検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(学校施設の開放について)

- ・ 学校活動の予定が入っていない時間が開放の対象時間となるが、開放団体の定期スケジュールが先に入っていることがあり開放委員会がその調整役となることが多い。
- ・ 通常の開放では車を使わないのが原則である。新設校で駐車場の設置する場合、周辺とのバランスが気になる。
- ・ 大会等を実施するならば駐車場需要は高いと思われる。
- ・ 防災の視点からも駐車場の設置について整理が必要かもしれない。
- ・ 通常の開放だと既存施設の空いている時間に利用するという考え方であるため新たな整備は行わない。

(地域資源活用について)

- ・ 教材開発を行う上で、対象を小学生とした場合の経験がなく、知識レベルの想像がつかない。
- ・ 地域資源の活用としては、夢見々崎動物公園や地域の歴史研究グループなどとの連携もあるのでは。
- ・ 企業で出張授業を行っているところもあり校長会等で周知していく予定である。

③第3回 地域活性化・地域資源活用WG

- ・ 日時：2月5日（火）13：30～15：00
- ・ 場所：川崎市教育文化会館 第6学習室
- ・ 参加委員5名

i) 議題

- ・ 地域活性化・地域資源 WG 関連基本構想部分資料案
- ・ 学校や地域の特性を踏まえた配置計画案の検討
- ・ WG における検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(建物配置ブロック例について)

- ・ 体育館と屋外運動場は隣接している方が使いやすい。
- ・ 周辺の従来からの住民は新設校と関係が薄いので、放送等の音が直接伝わりにくい配慮が必要だろう。
- ・ 音楽室等がマンションに隣接しているのは望ましくない。
- ・ プールが屋上に設置されるのであれば、覗き込み等を気にする保護者も多いので配慮が必要である。
- ・ 教室が南向きでないと暗くなる。屋外運動場に面して南向きが理想である。増築棟を建てるときもその点に配慮が必要である。

(地域資源活用について)

- ・ 創造のもりの活動の一環として小学校でイベントを開催するというのも現段階では想像しにくく、子どもたちが創造のもりのイベントに参加する形だろう。
- ・ 積極的な企業もあるが、単独の小学校に出かけて行ってイベントを行うという形は難

しいだろう。

④第4回 地域活性化・地域資源活用WG

- ・ 日時：3月14日（火）15：00～16：30
- ・ 場所：川崎市教育文化会館 第5学習室
- ・ 参加委員 5名

i) 議題

- ・ 学校や地域の特性を踏まえた配置計画案の検討
- ・ WGにおける検討内容について

ii) 委員からの主な意見

(地域活性化について)

- ・ 学校菜園の維持管理等に対して、地域のボランティアを動員することがよくある。ボランティアの活動がしやすい平面計画、施設配置にしないと後々の運用段階が大変である。
- ・ イベントという文言が散見されているが、現行では明確に位置付けられていない。ただし、新川崎地区においても川崎市が所管するイベントはあまりない。
- ・ イベントもよいが地域の歴史資源等の解説的なセミナーなどは一般的に小学校等に対して行われている。

3 他都市事例の視察記録

(1) 多摩市立多摩第一小学校

■視察日時

平成25年1月25日(金) 13:00~16:00

■施設概要

建築主：多摩市

所在地：多摩市関戸 3-2-23

敷地面積：16,124.32 m²

建築面積：6,105.80 m² (建蔽率 31.14%)

延床面積：7,973.05 m² (容積率 89.74%)

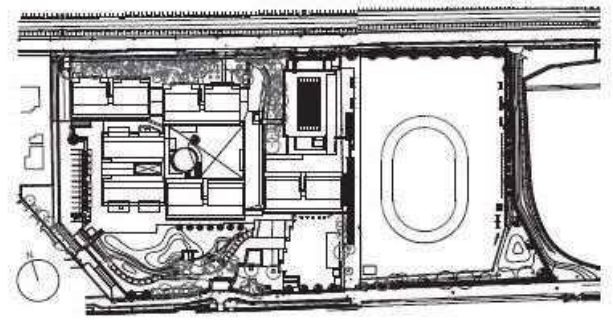
構造：RC造、一部S造

階数：地上3階

工期：2007年10月~2009年4月

クラス数：18クラス

児童数：637名



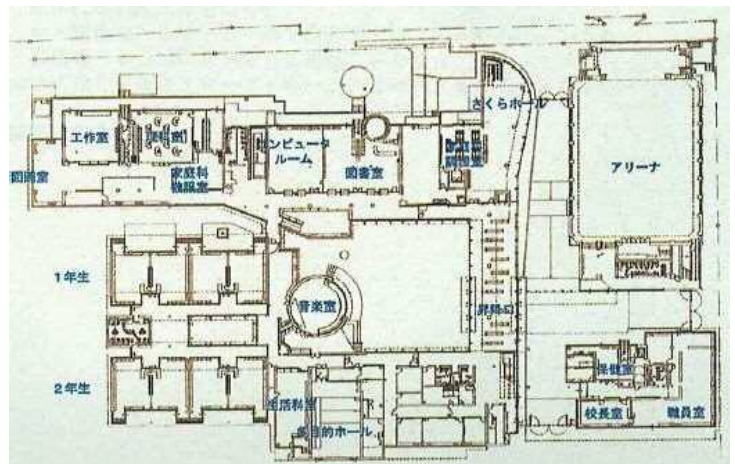
配置図



正門からの外観



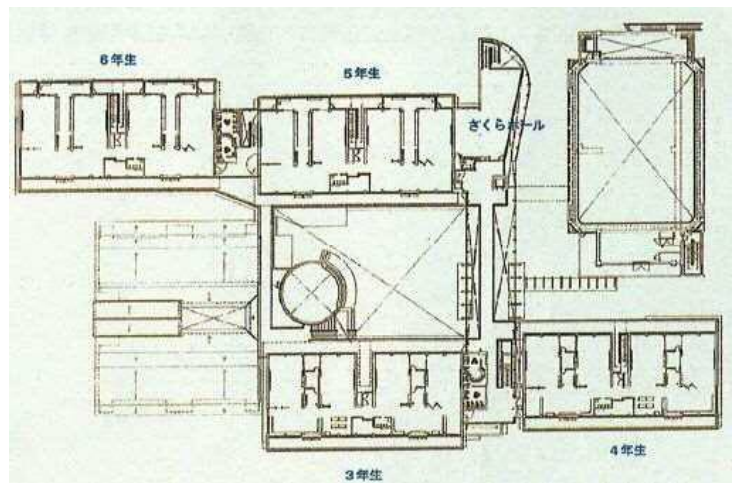
さくらホール前のポプラ並木



1階平面図



地域開放も考慮した体育館



2階平面図

■コンセプト（3つの基本方針）

- ・多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
- ・理科教育環境の充実
- ・家庭・地域と連携した施設の充実

■特徴的な取組み

【多様な学習環境】

- ・特別教室群の中心へのオープンスペースの配置による一体的かつ柔軟に融通可能な空間構成
- ・余裕教室とフリースペースの利用による少人数グループ学習の実施
- ・調理室に隣接するランチルームの設置
- ・図書室とコンピュータールームが一体的に活用できるメディアセンターの設置

【理科教育】

- ・理科室での集中力向上を目的とした机の配置
- ・理科室に隣接した屋外バルコニー
- ・理科室への可動間仕切りの設置による柔軟な利用

【地域と連携室施設】

- ・ウッドデッキの中庭を地域に開放

【環境対策】

- ・ビオトープ等の環境との共生空間の設置
- ・施設の長寿命化への考慮
- ・太陽光発電パネルの設置
- ・雨水利用による植栽散水、便所洗浄水
- ・自然採光に配慮したファサード・室配置の計画



自然採光に配慮したハイサイドライト



天井の高い音楽ホール（音楽ホール）



机配置が考慮された理科室



特別教室群バックヤード側の半屋外バルコニー

参考4. 打合せ・視察記録



正門側から見た低層2階建ての校舎外観とピオトープ



北側に大きな開口部を持つさくらホール



多目的スペースの可動レール



内装木質化の図られたトイレ



低学年教室横の屋外テラス



コンピュータールーム



共用部に附置された図書コーナー



特別教室棟屋根のPV設備



体育館屋根面のプール



開放的な昇降口

(2) 武蔵野市立大野田小学校

■視察日時

平成25年1月28日(月) 15:30~17:00

■施設概要

建築主：武蔵野市
 所在地：武蔵野市吉祥寺北町4-11-37
 敷地面積：15,051.77 m²
 建築面積：4,687.49 m² (建蔽率31.14%)
 延床面積：13,508.07 m² (容積率89.74%)
 構造：RC造、一部SRC造、S造
 階数：地上5階、地下1階
 工期：2003年10月~2005年3月
 クラス数：24クラス
 児童数：674名

■コンセプト(5つの基本方針)

- ・100年校舎
- ・質の高い多様な教育を目指す
- ・地球環境に配慮した学校
- ・地域に開かれたバリアフリー校舎
- ・安全(防犯・防災)を重視

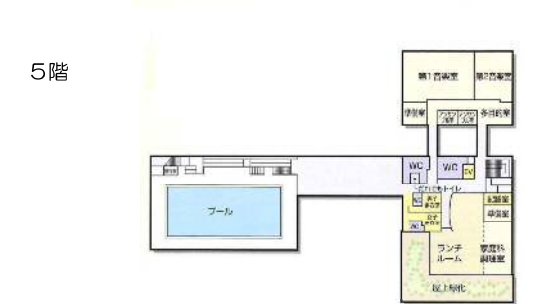
■特徴的な取組み

【多様な学習環境】

- ・児童の身体寸法や発達段階に応じ、学年ごとに異なる設えの多目的スペース
- ・廊下と一体となった多目的ホールなど、ゆとりのある共用空間
- ・階段状ホール型の多目的室(けやきホール)
- ・屋上庭園を望む、最上階に配置されたランチルームと調理室
- ・メディアセンター形式のコンピュータールームと図書室

【理科教育】

- ・理科室の机の配置や仕様の工夫
- ・第1、第2理科室の整備
- ・サイエンスクラブ等での休校日の生涯学習プログラムによる学校施設活用



参考4. 打合せ・視察記録

【環境対策】

- ・ 床放射式冷暖房（床涼温房）
- ・ 太陽光発電（プールサイドの日除けやバルコニーの庇）
- ・ 燃料電池（家庭用、発電出力1kw）

【防災対策】

- ・ 地域の病院と連携し、医療拠点として位置づけられている。
- ・ 保健室に薬品・医療器材等の備蓄。災害時は医師会メンバーが派遣され運営。

【地域との関わり】

- ・ けやきホール（学校営業時間中も開放）
- ・ 地域子ども館「あそべえ」（放課後の居場所づくり）



オープンスタイルの普通教室



普通教室に隣接した多目的スペース



廊下と一体となった多目的ホール
（卓球台が設置されている）



閉じられる仕様の学習室
（現在は児童数増加で普通教室として使用）



教壇の前の開けた机配置の理科室



工夫されたデザインの理科室の机 104

参考4. 打合せ・視察記録



特徴的な配置の図書室



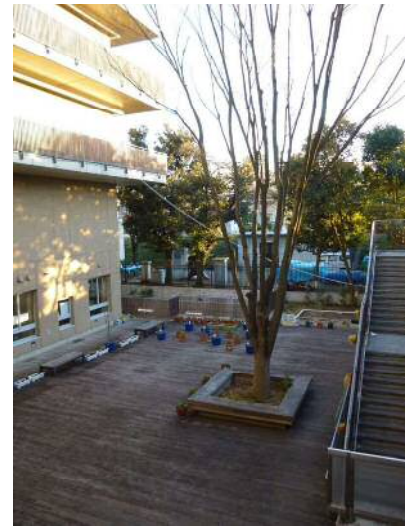
最上階の開放的なランチルーム



道路側の外観



プールサイドの日除けに設置された
太陽光発電パネル



シンボルツリーが配植された
ウッドデッキの中庭



様々な場所に設けられた児童の居場所



学校の中心的施設である階段状のけやきホール